

研究課題名	人工知能(Artificial Intelligence: AI)を用いたシャント音からのバスキュラーアクセス不全の診断
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。バスキュラーアクセスの理想的な管理のために、血液透析時のシャント音の聴診は欠かせない手段の一つであり、アクセス不全を発見するために非常に重要です。しかし、異常を発見するためにはある程度の技術が必要でスタッフの技量に左右される事が多いです。そこで、AI を用いて電子聴診器により得られた皆様のシャント音の情報よりバスキュラーアクセス不全を自動的に判別できる AI を開発しようと考えてます。 *バスキュラーアクセス：内シャント、人工血管などの総称です。 *シャント音：毎回、聴診器で聞いているシャントの音です。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2023 年 4 月から 2025 年 11 月までに大阪公立大学医学部附属病院人工腎部で血液透析を受けた患者さんで電子聴診器を使用された患者様。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	「試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)」 「提供する試料・情報の取得の方法」 「提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者」 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報：【① 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重(DW)、原疾患、既往歴、喫煙歴、透析歴、合併症、入院時病名、透析の曜日、心胸郭比 ② 血液検査：Hb、Ht、TP、Alb、S-Cre、eGFR、BUN、Na、K、Cl、Ca、P、CRP、Alb、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、血清総コレステロール、トリグリセリド、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c。 ③ 血圧(透析前後) ④ 体重(透析前後) ⑤ 透析条件(測定時のQB、QS、QD、使用針、透析時間)、動的静脈圧 ⑥ バスキュラーアクセスの種類・治療歴 ⑦ バスキュラーアクセス機能・形態評価 ⑧ バスキュラーアクセスのモニタリング：シャント音聴取、触診、視診】
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島伸一
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究代表者：大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 長沼俊秀

試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 長沼俊秀 【共同研究機関・研究責任者】 大阪工業大学工学部生命工学科 崎山 亮一
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 泌尿器科 担当者氏名：長沼 俊秀 電話番号：(06) 6645-2366